

# 森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1185

令和6年12月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## サクラの紅葉：(大阪市内)

トピックス：「水都おおさか森林（もり）の市2024開催」  
～森林のワクワク探しに行こう！～ (技術普及課)

ニュース：広島北部森林管理署、和歌山森林管理署、山口森林管理事務所

花草木：キミノセンリョウ

我が署のスタッフ：福井森林管理署

森林事務所等紹介：飛鳥森林事務所(三重森林管理署)

国有林最前線：経理課

## 「水都おおさか森林（もり）の市2024開催」 ～森林のワクワク探しに行こう！

### 【技術普及課】

10月27日（日）、大阪市北区の桜ノ宮合同庁舎及び周辺の毛馬桜之宮公園で、近畿中国森林管理局、環境省近畿地方環境事務所、（一社）大阪府木材連合会、森林・林業に関わる行政や関係団体など14団体で構成する水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会の主催により「水都おおさか森林（もり）の市2024」を開催しました。

大阪は、古くから琵琶湖の水を利用した水運交易により発展し、明治の頃には「水の都」と呼ばれていました。琵琶湖がたたえる豊かな水は、森林の恩恵によって支えられていると考えられます。「森林の市」は、参加者の皆様にそうした森林の恵みや木に触れていただくことで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業・木材産業の果たす役割や木材利用の意義、農山村の現状について理解を深めていただくことにより、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目的としています。



オープニングセレモニー・テープカット



会場の雰囲気

「森林の市」は、今年で36回目を数え、府民に親しまれるイベントとして定着しています。

今年は、「森林のワクワク探しに行こう！」をテーマに大阪近隣府県や東京都、群馬県、島根県、宮崎県など1都2府9県から約50団体の出展ブースが並び、さまざまな体験コーナーをはじめ、木製品、干しシイタケ、柿や梨など地域の特産品が集まりました。

会場では、近年深刻化する獣害被害への対策としてシカやイノシシの捕獲数が増加する中、「ジビエ」への関心を高め、その消費拡大に向けたPRを図るため、岡山県美作市や大阪府内で捕獲した野生のシカ肉・イノシシ肉が「ジビエ料理」として提供されました。



岡山県美作市産ジビエサイコロステーキ



大阪産ジビエソーセージ

また、来年開催される大阪・関西万博の公式キャラクター「ミyakミyak」が、島根県観光キャラクター「しまねっこ」と一緒に登場し、会場内を盛り上げました。木のおもちゃで遊べるキッズコーナーには、紙芝居の上映に合わせ島根県の森のしずくの妖精「みーもくん」が出演し、小さなお子さんと記念写真を撮るなど人気者となっていました。

体験コーナーでは、毎年恒例の苔テラリウム、木エクラフト、親子で椅子づくりなどのブースが人気を集め、オリジナル作品づくりに熱中していました。丸太切りや高性能林業機械「ハーベスタ」のシミュレーター体験、シイタケの炭火焼き体験、森林セラピー体験、各団体の取組紹介など様々な内容で、訪れた大人から子供までとても楽しんでいました。

来場者からは、「自然を大切にしたいと思った」「林業を知る機会になった」「木の香りで癒される、木について知ることができた」「はじめてジビエ料理を食べたが、おいしかった」「クイズラリーが楽しかった」「来年もまた来たい」など、たくさんの声が聞かれ、盛況のうちに終了しました。



「しまねっこ」と「ミyakミyak」



丸太切り体験



高性能林業機械のシミュレーター体験



キッズコーナーでの「みーもくん」

## 神石高原中学校1年生が植樹体験を行いました。

### 【広島北部森林管理署】

神石郡森林組合と神石高原町立神石高原中学校は、総合的な学習の時間の活動を通じて、森林整備に関する学びを深め、地域での取組に繋げることを目的として森林学習（年4回開催）を行っています。広島北部森林管理署では、その趣旨に賛同、協力することとして、11月5日（火）に、新元重山国有林（神石高原町）において、同中学校1年生20名を対象にヒノキ苗の植樹体験を行いました。

はじめに、職員が当該国有林の概要やヒノキ苗の説明と植樹の実演を行った後、生徒一人ひとりがクワを使用し200本の植樹を行いました。生徒達は、植え付けに支障となる石や雑草などを取り除こうと悪戦苦闘しながら作業を行っていました。将来、参加した生徒がこの地を訪れた際、大きくなったヒノキを見て当時の大変さや森林整備の大切さを思い浮かべてくれたらと思います。



植樹体験活動の状況

広島北部森林管理署では、今後も、関係機関と連携・協力を行いながら、林業を担う人材育成や森林学習など森林環境教育を推進し、地域の発展に貢献する取組を進めてまいります。



## 「高野山古事の森」見学会を開催しました。

### 【和歌山森林管理署】

和歌山森林管理署では、11月9日（土）和歌山県高野町において、美しい紅葉が映える秋晴れの中、一般参加者16名を迎え、伝統的木造建築物の修復や復旧に必要となる大径長尺材を供給するため高野山国有林内に設定された「高野山古事の森」の見学会を開催しました。

当日は、将来の供給先となる伝統的木造建築物の一例として、一般公開されていない「世界遺産 高野山金剛峯寺新書院・奥殿」を見学させていただき、金剛峯寺 霊宝館 館長 大森照龍氏の歴史深いお話とともに、普段見ることができない貴重な建築や襖絵等を鑑賞することができました。



金剛峯寺新書院・奥殿



ドローンの画像を見る参加者

その後、「高野山古事の森」（高野山国有林242林班）まで移動し、ドローンの上空からの映像により古事の森の成長を見ていただきながら、「古事の森づくり」について概要説明を行いました。参加者からは、「毎年楽しみにしており、来年も参加したい」「貴重な襖絵が見学出来て、大変良かった」との嬉しいお声をいただくなど、有意義な一日となりました。和歌山森林管理署では、今後も「古事の森づくり」のPR活動等を続けてまいります。

## 幼稚園児にクリスマスリースを プレゼントしました。

【山口森林管理事務所】

秋も深まり朝晩冷え込む頃、山口森林管理事務所で、心が温まる出来事がありました。



かわいい訪問者

11月13日（水）、事務所にかわいい訪問者が訪れました。訪問者のみなさんは、事務所にほど近い明星幼稚園の園児さんと、収穫感謝祭の行事で来訪しました。



園児から頂いた、野菜など



リースなどをプレゼント

山口森林管理事務所では、これからも、このような機会を通じて、地域とのふれあいに努めてまいります。



ミニクリスマスツリー



もっくん（サンタクロース）

## お知らせ

### 森林のギャラリー（局庁舎1階）



#### 【技術普及課】

○12月2日（月）～12月27日（金）の展示は、全国燃料協会、林木育種センター関西育種場、多賀森林環境事業協同組合です。

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



#### 【企画調整課、治山課】

○「令和6年能登半島地震・奥能登豪雨」に関する情報を公開しています。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/notohantoujisin240101.html>



#### 【企画調整課】

令和7年度「国有林モニター」の募集について

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/monitor/7\\_boshu.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/monitor/7_boshu.html)



#### 【箕面森林ふれあい推進センター】

「こだま通信」を更新しました。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/booklet/kodamatushin.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html)



#### 【森林技術・支援センター】

職員フォト：職員が目にした自然の光景や行事の風景など、随時更新しています。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g\\_center/photo.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/photo.html)



## 花草木

### 【キミノセンリョウ】

キミノセンリョウ（黄実千両、学名：Sarcandra glabra f. flava）は、葉上に果実を成らすセンリョウ科センリョウ属の常緑小低木「センリョウ（千両、学名：Sarcandra glabra）」の色違い果実をつける品種です。センリョウは無花被花（achlamydeous flower）です。枝先に子房と雄しべが1個付き、花弁や萼がくはありません。冬に赤い球形の果実を成らせますが、黄実千両（S. glabra f. Flava）は黄色い果実をつけます。葉に光沢があり、薄く、皮質で、葉縁に鋸歯があります。庭木、寺木、床飾りの寄せ植えや、生け花等に用いられます。



大阪市内のお寺で見つけたキミノセンリョウ

花名に旧貨幣のつく花に、マンリョウ（万両、学名：Ardisia crenata）、センリョウ（千両、学名：Sarcandra glabra）、ヒャクリョウ（百両、カタラチバナ、唐橘、学名：Ardisia crispa）、ジュウリョウ（十両、学名：Ardisia japonica）があります。この内、センリョウはセンリョウ科で、その他は、ヤブコウジ科です。

キミノセンリョウの花言葉は、「利益」「可憐」「裕福」「富」「財産」「恵まれた才能」「富貴」

## 我が署のスタッフ 福井森林管理署

江崎 帆佳（えざき ほのか）（令和6年度採用）

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

業務グループで資源活用及び車両の業務に携わっています。現在は、生産請負事業で生産された素材の委託販売、安定供給システム販売の事務、自動車点検等の事務を主に行っています。採用1年目でまだ分からないことばかりですが、署や局の方々に助けていただきながら日々勉強しております。また、OJT等で担当業務以外のことも経験させていただいています。

林野庁の業務は多岐にわたりますので、今後様々な業務に携わり知識や経験を増やしていけたらと思います。

### 【職場の雰囲気は？】

署内は明るく、皆さん気軽に声をかけてくださって話しやすい雰囲気だと思います。

### 【林野庁の魅力は？】

森林資源の循環利用に携わることができる点だと思います。1つ1つの仕事は小さくても、将来の森林につながるとあって頑張っていきたいです。



地上レーザスキャナで立木の胸高直径を計測中（OJT）

## 森林事務所等紹介

### 飛鳥森林事務所（三重森林管理署）

#### 森林官 中本 茂典（なかもと しげのり）

飛鳥森林事務所は三重県熊野市の山間部に所在し、ツワブキが生える海岸林の七里御浜からブナ林がある大又国有林の保色山（1,029m）まで多様な植生と地形を有する6団地の国有林3,374haと官行造林地88haを管理しています。

事務所の場所は、標高350mほどで海岸部からは尾根を一つ越えた場所のためか、温暖な熊野地方でも冬の最低気温が-7℃になることもあり「トンネルを抜けるとそこは雪国だった」などということもよくあります。

大又国有林には、かつて木材を運ぶトロッコ列車が走り、職員養成の修練道場や100人規模の集落に小学校もあったそうですが、今は奥深い森林の中で建物の基礎だけがひっそりと当時の面影を残しています。隣接する尾鷲市共々日本有数の多雨地域であり、山には岩石が多く昔は土を背負い石の隙間に植林していたとよく聞かされたものです。

令和6年度には森林整備事業（保育間伐活用型）で保育間伐153.76ha、素材生産3,410m<sup>3</sup>を実施しています。



七里御浜の海岸林



G・G 作戦の様子

七里御浜国有林は、1市2町をまたぐ日本一長い砂礫海岸（25km）と並行した防風保安林で、近くには伊弉册尊（イザナミノミコト）の御陵で、日本最古の神社「花窟（はなのいわや）神社」があります。また、防風林として熊野灘から吹き付ける強い潮風による塩害から人々の暮らしを守るだけでなく、陸地の光を遮ることで七里御浜に上陸するウミガメの産卵をも助けています。

七里御浜国有林も他の松林と同様に松枯れの被害が著しく、江戸時代、新宮藩主・水野重仲が植えたとされる松も今は残っておらず、植栽や伐倒駆除、樹幹注入により松林の造成・保護に取り組むとともに、平成5年から「七里御浜松林を守る協議会（熊野市、御浜町、紀宝町）と連携してG・G（Green・Grow（育てる））作戦を続け、地域の人たちと一緒に松を植えたり掃除を行っています。



撮影の様子

さらに、令和5年には、小学生を対象とした教材、みえ森林ワークブック「調べてみよう森林を守る人、育てる人」【森林の働き、風や砂を防ぐ】のYouTube動画に出演し、防風林の役割や国有林の取り組みを紹介しました。もっと見栄えの良い職員でとの願いも叶わず、出来上がった動画を見たときはさすがに恥ずかしかったですが、防風林の役割などが小学生にも分かりやすく出来ていて、理解が深まればと願っています。

動画はこちら



# シリーズ『国有林最前線！』

## 事業者の皆様 政府電子調達システムを活用していますか？

### 経理課

毎号、国有林の現場の最新の情報を掲載しているところですが、今回は、経理部門の最前線として、事業者のみなさんへ政府電子調達システム「GEPS：ジープス」を紹介させていただきます。

政府電子調達システムとは、デジタル庁が運用し政府機関（府省等）が共同利用するシステムで、政府が行う「物品・役務」及び「一部の公共事業」に係る一連の調達手続をインターネット経由で電子的に行うことができるシステムです。

システムでは、調達案件の検索、電子入札・契約等の一連の手続きをオンラインで行うことができます。

電子調達システムの利用権限をもつと電子入札だけでなく、電子調達システムの機能を利用して電子契約書や電子請求書の発行が行えるようになります。

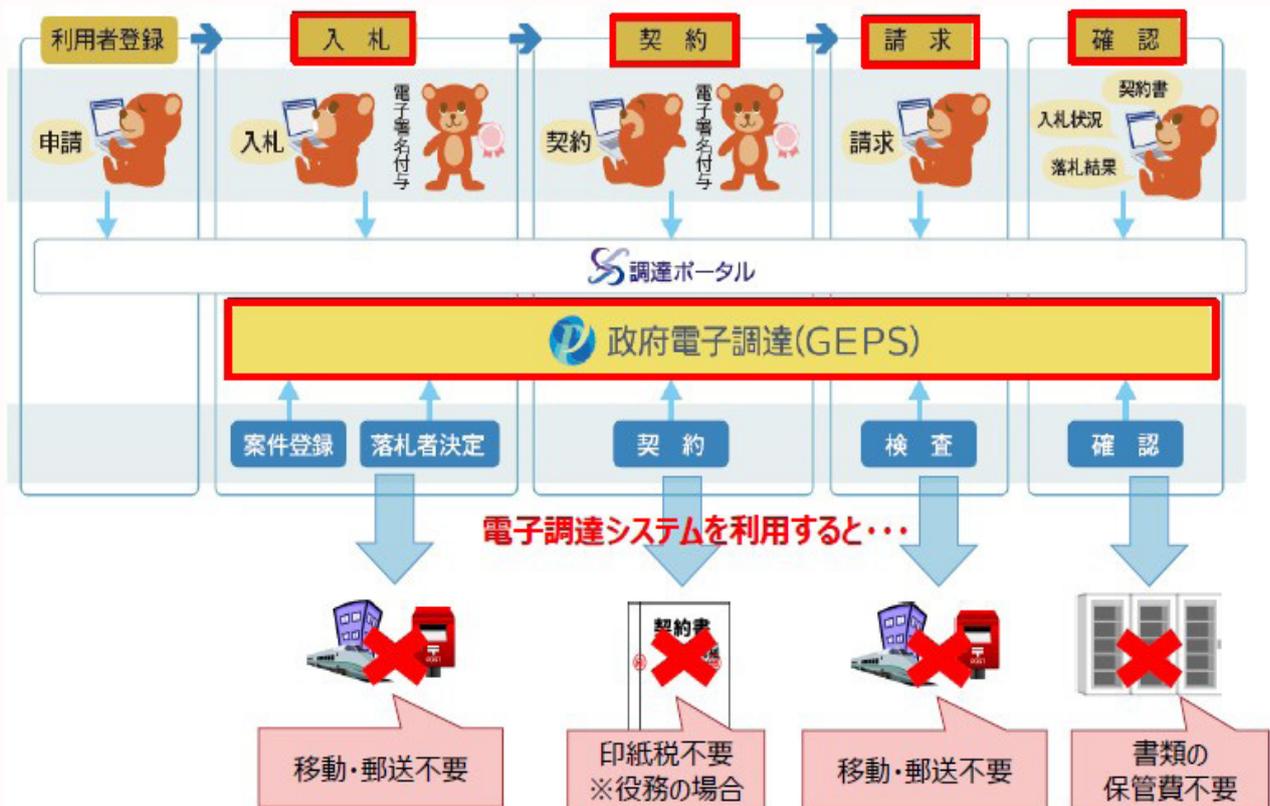
また、電子調達システム利用のメリットは、現場の負担軽減とコスト削減です。

- ・電子手続きでは印紙税法の課税文書とならないため、収入印紙（印紙税）の納付が不要です。
- ・電子手続きにより紙書類の準備・郵送、提出・入札のための移動等のコストが削減可能です。

国有林野事業においても、今後、電子入札を行っている森林土木工事や測量・設計コンサルタント業務についても電子契約が導入される予定で、政府電子調達システムは益々広まることでしょう。

詳しくは下記のサイトをご覧ください。

調達ポータル：<https://www.p-portal.go.jp>



政府電子調達システム「GEPS」（ジープス）のイメージです